

No.016 双方向多言語コミュニケーション



実施場所：

新宿中央公園SHUKNOVA前

期間：

2021年12月20日～2022年1月23日

解決を目指す西新宿の課題：

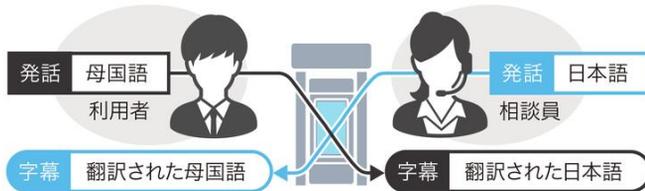
- 災害対策優先通信での災害時のコミュニケーション手段の確保
- 双方向多言語自動翻訳による言語のバリアフリー化

実施内容：

- ・スマートポール上に搭載された5G回線を利用し、リアルタイムの双方向多言語翻訳字幕つき映像コミュニケーションサービスを提供
- ・100言語以上への自動翻訳機能付きのビデオ通話で異なる言語を話す人どうしのコミュニケーションを支援

具体的な実証内容：

- ・観光案内と災害時支援の2つの利用シーンを想定して、12名のテストユーザーが相談役、遠隔地にいるシスコメンバーが相談員役を演じるロールプレイ形式で実施し、アンケート調査を行った
- ・英語、中国語、韓国語、スペイン語で実施した



※本事業は、都の「令和3年度西新宿エリアにおける5Gを含む先端技術を活用したスマートシティサービス」の補助事業として実施しました

効果検証結果（KPI）：5段階評価

評価項目	評価
①実証サービスとしての満足度：	3.8
②西新宿における本格実装への期待度	4.3
③5G活用サービスへの期待度の変化	4.4
④双方向多言語翻訳の有用性とニーズ	4.3

実施結果（考察）：

- ・言語のバリアフリー化という課題の解決に対して有用で、とりわけ災害時の利用に対する期待が高いことが分かった
- ・外国人相談窓口を運営している団体のヒアリングでも自動翻訳機能は補助的な利用の価値があると認められる



シスコシステムズ合同会社

https://www.cisco.com/c/ja_jp/index.html